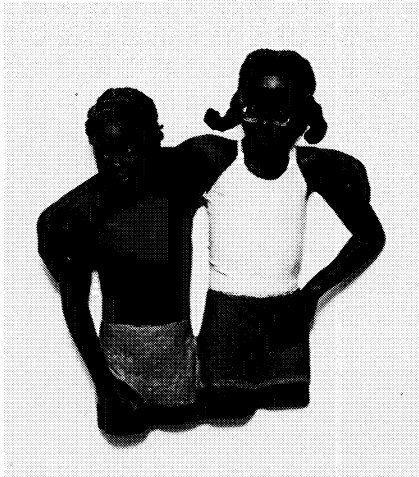


～摩天楼の诗情とダイナミズム～  
**ニューヨーク・リアリズム展**

会期：11月1日(火)～12月11日(日)  
 会場：福島県立美術館



ジョン・エイハーン  
 「オードリーとジェイネル」 1903年

観覧料 一般・大学生 820(660)円  
 高校生 610(460)円  
 小・中学生 410(300)円  
 ※( )内は20名以上の団体料金

休館日 毎週月曜日、11月4日(金)、24日(木)

摩天楼とエスニックの街ニューヨークは、20世紀の都市文明を象徴する大都会としてよく知られています。このニューヨークは、今世紀の初頭以来、世界の経済と文化の中心地として発展してきましたが、同時に都市の繁栄とともに様々な新しい芸術が生まれ、アメリカ美術のみならず、世界の現代美術をリードする数多くの芸術家が輩出しました。

本展は、多様な表情をみせるニューヨークの20世紀アート・シーンの中から、リアリズムと呼ばれる写実的、具象的な絵画表現に焦点をあて、そのダイナミックな100年の歩みを展望するものです。

大都会の下町に生きる庶民の姿を哀感をもって描いたジョン・スローン、マーシュ、近代都市のエネルギーとダイナミズムをモダンな様式で表現したマリン、スチュアート・ディヴィス、20年代から30年代のアメリカン・シーンを代表するエドワード・ホッパー、ベン・シャーン、国吉康雄、70年代のスーパー・リアリズム、レッド・グルームスやキース・ヘリングら新世代の個性的なアーティスト約60名が登場して、彼らによる20世紀の多彩なニューヨーク・イメージをご紹介します。



エドワード・ブルース「パワー」 1933年頃



リチャード・エステス  
 「スローンのスーパーマーケット」 1968年



国吉康雄  
 「バンドナをつけた少女」 1936年



チャールズ・シラー  
 「窓」 1951年